

[報告]保護者向け企業ガイダンスの開催について

2016年12月18日に保護者向けガイダンス「徳島の魅力、徳島で働く～企業ガイダンス編」を開催した。本ガイダンスは、県内大学、高専の学生・保護者を対象に、県内企業の魅力や将来ビジョン、また、徳島県で働く・暮らすことについて周知を図り、県内就職の増加につなげることを目的とし、特に、保護者に向けて企業名や規模ではなく、業務内容やワークスタイル等の様々な観点から就職先を選ぶ視点を含めて、徳島の企業の魅力を伝達した。

(1) 企画名

「徳島の魅力、徳島で働く～企業ガイダンス編」

(2) 実施内容

13:00 : 主催者挨拶

13:10-13:40 : [第一部]パネルディスカッション『インターンシップ生が語る企業の見方調べ方』

13:40-14:10 : [第二部]基調講演『データから見る徳島の企業の強み』

14:15-15:15 : [第三部]企業講演 『実は〇〇！徳島の企業の意外な魅力』

テーマ：①「最先端の仕事と田舎暮らしは両立できる！」((株)プラトイーズ)

②「次世代技術関連企業では多様な人材が活躍している！」((株)大塚テクノ)

③「農業は総合力が求められるベンチャー企業！」((有)榎山農園)

④「地域包括ケアシステムにおける多様な薬剤師の役割」((株)グローバル・アシスト)

15:20-16:20 : [第四部]個別企業相談会



[第一部]パネルディスカッションの様子



[第三部]企業講演の様子



[第四部]個別相談会の様子



[第四部]キャリア支援室ブースの様子

(3) 来訪者数

120人(学生45人、保護者26人、関係者31人、出展者18人)

(4) アンケート回答の抜粋

①学校別参加者数(有効回答数:学生44人、保護者16人)

	徳島大	徳島文理大	四国大	阿南工専	県内その他	県外大学
学生	33	6	1	3	0	1(高知大)
保護者	16	0	0	0	0	0

- 学生については、徳島大学生が中心。徳島文理大、阿南高専、四国大、からの参加も見られた。
- 高知大学の既卒学生(徳島在住)が1名参加。近隣県の大学生にもニーズがあるのではないか。
- 保護者については回答者全員が徳島大と回答。

②学部別参加者数(徳島大学のみ。有効回答数:学生33人、保護者16人)

	総合科学	医	歯	薬	理工(工)	生物資源	大学院
学生	6	0	0	7	19	1	2
保護者	2	1	0	0	13	0	0

- 学生については、理工(工)、薬、総合科学の所属が中心。一部大学院生も見られた。
- 保護者についてはほとんどが理工(工)所属と回答。

③学年別参加者数(有効回答数:学生44人、保護者16人)

	1年	2年	3年	4年	大学院	既卒
学生	11	9	16	5	2	1
保護者	1	4	9	2	0	0

- 学生については、各学年からの広い参加が見られた。
- 保護者については3年生との回答が半数。

④県内企業への関心(有効回答数:学生34人、保護者19人)

	学生	保護者
ガイダンスの参加以前より、徳島県内へ就職を考えていた。	16	2
ガイダンスの参加以前より、就職先として選択肢に考えていた。	12	12
ガイダンスに参加して、就職先として選択肢に考えるようになった。	3	5
就職先としてはあまり考えていない。	3	0

- 参加者の大半は、以前より徳島県内の就職を視野に入れている。
- ガイダンスに参加したことで県内企業を就職先として選択肢に考えるようになったとの回答が8件(学生3、保護者5)見られる。プログラムの内容として一定の効果があったと考えられる。

関連する参加者の声(自由回答項目より抜粋)

- 具体的な資料やデータなどから、徳島の今を知ることが出来た。(学生/阿南高専機械工学科4年生)
- データの観点から徳島を考察した話を初めて聞いたため、非常に良かった。大塚グループ、日亜化学以外にも頑張っている企業(ものづくりの企業)が色々と存在することを知れて良かった。内容が充実していた。(保護者/徳島大学総合科学部社会創生学科4年生)

⑤プログラムへの満足度(有効回答数:学生38人、保護者18人)

	学生	保護者
期待通りの情報が得られて満足している。	20	13
期待していた情報は得られたが、不十分である。	9	0
期待していた情報は得られなかったが、本ガイダンスには満足している。	8	4

期待していた情報は得られず、不満である。	1	1
<ul style="list-style-type: none"> • 総じてプログラム参加者の満足度は高い。 • 学生については、プログラムで得られる情報について、さらなる情報を求める声が見られる。 		
関連する参加者の声（自由回答項目より抜粋）		
<ul style="list-style-type: none"> • 目指している業種とは違った職種あるいは会社の方のお話が聞いてよかった。特にプラットイー ズさんは技術面以外でも魅力がある会社と思った。（学生／阿南高専機械工学科 4 年生） • もう少し長い時間で、詳しい話を聞きたい。（学生／徳島大学生物資源産業学部生物資源産業学 科 1 年生） 		

⑥自由記述

【導入企画】

良かった点

- 実際に企業に入ってみない分からないことが多いのだと思った。（学生／徳島大学総合科学部社会創生学科 3 年生）
- 企業のイメージと実際に行ってみて感じたことに差があったことが分かったが、本当の中身というの中に入ってみないと分からないことが多い。（保護者／徳島大学工学部知能情報工学科 3 年生）
- 自分の時代の知識と違い業種によってはこんな時に驚くのかと思う場面があった。年代の差、時代変化として改めて意識できた。（保護者／徳島大学医学部栄養学科 1 年生）

改善してほしい点

- もう少し時間が長くてよい。（学生／徳島大学総合科学部社会総合科学科 1 年生）
- 就職先を選ぶときに企業のどういった点を見ることが大事なのか、もう少し詳しく教えてほしかった。（学生／徳島大学総合科学部社会創生学科 3 年生）

【基調講演】

良かった点

- 大企業だけが全てではない点が参考になった。（学生／徳島大学工学部電気電子工学科 3 年生）
- 徳島の強みを知ることで関心を持つ人が増えるのではないかと感じた。（学生／徳島大学総合科学部社会総合科学科 1 年生）
- データの観点から徳島を考察した話を初めて聞いたため、非常に良かった。大塚グループ、日亜化学以外にも頑張っている企業（ものづくりの企業）が色々と存在することを知ることができ、良かった。内容が充実していた。（保護者／徳島大学総合科学部社会創生学科 4 年生）
- 徳島の強み及び現状を知ることで、自分の強みを深く理解するきっかけになった。（出展者）

改善してほしい点

- もう少し時間をとり、より詳細に紹介できるようにしてもいいかと思う。（学生／不明）

【企業講演】

良かった点

- 1 年生として、企業について考えていく上での知識としてよかった。（学生／徳島大学総合科学部社会総合科学科 1 年生）
- 今までにはなかった職業（自分たちがが就活していた頃）や新しい職業、時代と共に変わってきた職業について知ることができた。（保護者／不明）
- あらゆる業種の可能性が理解できた点（出展者）
- 各社のさまざまな取り組みを知ることが出来、参考になった。（出展者）

改善してほしい点

- 徳島の企業だからこそその魅力をもっと感じられるといいと思った。（学生／徳島大学工学部電気電子工学科 3 年生）
- もっと聞きたい、時間が足りない。（保護者／徳島大学工学部生物工学科 3 年生）

【個別企業相談会】

良かった点

- ・実際に企業の方と話すことで、自分が考えていくべきことや企業の目指す方向性についても知ることができる機会となった。(学生/不明)
- ・各社のさまざまな取り組みを知ることが出来、参考になった。(出展者)
- ・魅力のある職業にはなるべく企業が常に先を見て取り組んでいることに改めて驚かされた。(保護者)

改善してほしい点

- ・時間が非常に少なく、十分に企業を回ることができなかった。企業様型の負担も増えるかとは思いますが、できればもう少し時間がほしかった。(学生/高知大学理学部応用理学科)
- ・もっと多くの企業さんをお願いしたい(保護者/徳島大学工学部生物工学科4年生)
- ・就活に関する意識受けが事前にあった方がスムーズに入れるかと感じました。(時期が難しい判断かと存じます)(出展者)

(5) 総評

今回の企画は就活に臨む学生およびその保護者を対象に地域における経済・産業の動向や業種・業態毎の企業の取り組みやその可能性について認識を得るための機会として催した。アンケートの集計結果を見ると、全体のプログラムの作りとしては満足度が高いと言える。アンケート結果からも分かるようにニーズは想定以上に(特に保護者)あることが把握できた。アンケート及び、運営の現場から浮かび上がる課題としては、以下の3点が挙げられる。

① 開催時期と頻度についての再考

今回の開催は就活開始の3ヶ月前としたが、より早い時期の開催を望む声や、年2回程度の開催を望む声が3割程度あった

② 情報提供の内容設定について

2割強の参加者が、事前に期待していた内容とガイダンスの内容が異なると回答している。ガイダンス自体への満足度は高いため、当事業の主旨・目的を明確に伝え、理解賛同を得るための提示方法について考察する必要がある。

今回のガイダンスは「徳島の魅力、徳島で働く～企業ガイダンス編」として催したが、企業ガイダンス…ではなく、例えば業界検索、業態リサーチなど就職先を定める上で必要な業界または業態の違いについて知ることができる場であることを明確に示し、就活とは異なる“ガイダンス”としての位置付けをアピールする必要がある

また、本ガイダンスの狙いが参加者に的確に伝わるよう、講演内容のテーマを絞る等の工夫が必要となる。

③ 出展者(開催側・情報提供者側)の構成について

今回のガイダンスは主に企業の人事課の担当者にご参加いただいたが、人事課と言う部署の特性上、人材登用に関連する相談会の色が強く出てしまい、ガイダンスの趣旨との違いに出展者・参加者を困惑させてしまった点が運営上の課題として指摘できる。

プログラムの趣旨上、企業戦略やビジョンについてのガイダンスがあることが望ましく、今後の開催においては経営者や企画部局の担当者の出席も依頼していくことが必要となる。

これらの課題を踏まえ、県および県内経済団体に事業主体を移管していく可能性も視野に入れて、来年度開催に向けての方針を検討するワーキンググループの立ち上げを検討したい。